

一般質問

問&答

問 財政状況の速やかな公表を

答 分かりやすい表現で公表する

岸本 義明 議員

問

合併により財政状況が多少とも改善されると期待していたにも拘らず、非常に厳しい状況といわれている。そのことに対して市民の理解を得るためにも速やかに新市の財政状況を分かり易く公表すべきだ。

また、その状況を示す一つの形態として、貸借対照表を作成し公表すべきだ。

市長

市民に財政状況を知らせていただき、共に危機感をもって考えていただくためにも、将来の見直しも含めて分かりやすい表現で公表する。貸借対照表につきましては、可能な限り公表していきたい。

問

行政評価システムプロジェクトは、

いつ立ち上げるのか。

企画部長

7月 中には稼動する。

問

「防災総点検の日」を制定して、年に一度は全自治会・職場・学校園・家庭の協力を得て、全市挙げて防災の意識の高揚を図り、防災のための総点検をすべきだ。また、災害時に役立つ小道具を、地元負担を一割程度に抑えて、各自治会の戸数に応じて整備すべきだ。

市長

全市挙げて防災訓練を実施することや「防災総点検の日」を制定すること、災害時に役立つ防災用具を整備すること等も防災計画策定の過程で考えていく。

問 新市が目指すまちづくりの方向性は…

答 合併協議会の方向性を生かした基盤づくりを目指す

北川 清司 議員

問

広大な宍粟市が誕生しました。今後この宍粟市の一体的な発展、振興策をどう考えているのか、少子高齢化が進むなか福祉、教育、環境と多くの行政課題を抱えるなか、市長が最優先課題として宍粟市の使命に挙げるものは、また改革へどう臨むのか。市政のかじ取りという行政手腕、時代を先取りし、地域間競争に打ち勝つ先見性なども特に求められているが。

市長

合併協議会が示した方向性を生かし、安全・安心で快適な環境づくり、資源を活用した産業の振興、市民参加型の市政の基盤づくりを進める。

問

基本方針、新市の町づくりは次年度からとあるが、多くの市民の期待と関心はすべて合併がスタートである。なかでも、行政の専門家、市職員の士気、意欲までも衰退させているのではないか。民間企業、会社のトップの交代は、即改革、戦略が打ち出され、その成果が企業に活力を与えている。改革が進むこの時こそ、新たな発想と英断、勇気をもって新市建設に情熱を注ぐべきである。

市長

合併の基本は4町のゆるやかな移行にある。合併協議を具現化するため基礎的な計画を本年度可能な限り立てる。

問 行政改革のとりくみは

答 行政改革大綱案の策定により進める

船曳 順市 議員

問

新庁舎建設が急務では。

市長

分散した現在の状況には、効率性・機能性の面で、大変不便を感じている。早速、本庁舎の建設についてプロジェクトチームによる検討を指示している。

問

機構改革推進は

3ヶ月を経過し、これまでの状況を見てきたが、事務量や市民局と本庁の連携状況について改善の余地が多く見受けられる。

市長

6ヶ月が合併する予定。設立当初とは変っているが、宍粟市としては本計画推進に期待している。11町の枠組みは変わっていない。可能な限り早く問題の解決をしていきたい。

問

行政改革推進は

行政改革大綱を策定すべく、プロジェクトを設置

し、大綱案の作成にとりかかり、その後、住民代表の方々を中心とした行政改革の懇話会において策定する計画。施設管理運営のアウトソーシング等早急に努力していく。

問

美化センターの残渣撤去は

市長

現地での搬出は飛散防止のテント設置も終り準備が整っている。

問

11町組合の構成と枠組みは

市長

本年度内に6町が合併する予定。設立当初とは変っているが、宍粟市としては本計画推進に期待している。11町の枠組みは変わっていない。可能な限り早く問題の解決をしていきたい。